

..... 編集後記

◆ 早くも、今年も5月を迎えました。10日は第2回目の「地質の日」です。これからも地質を身近なものとする活動を、皆様のご協力でご更に拡大したいものです。今月号は色とりどりの一般記事と書評の計9編で構成しています。また、表紙と口絵は前回から日本の山々がシリーズで飾っています。

◆ 初めは、前号に引き続き茂野氏ほかによるExcel VBA(オープンソース)による地球科学データの処理の3回目です。今回は侵食地形「燭台石(台湾)」、「土柱(徳島)」や「鬼の洗濯岩(宮崎)」の生成シミュレーションを紹介して下さいました。興味深い地質景観が、単純で概念化した形で理解しやすくなっています。口絵の写真も参照しながらお読み下さい。

◆ 続いては国土地理院の小島氏による地球地図に関する話題です。地球地図というのは初めて聞かれる方も多いかと思いますが、世界の全陸域を対象に統一規格で整備したデジタル地理情報で、地球環境をはじめ様々な分野での利活用が期待されています。その詳しい紹介は、国際運営委員会事務局をされている同氏による記事をお読み下さい。

◆ 資源問題は産業の基本です。日鉄鉱コンサルタントの高畑氏は、タイ王国で得られたサンゴ化石を含む閃亜鉛鉱石と閃亜鉛鉱ノジュールに関する興味深い話題を提供して下さいました。口絵の写真をしながらお読み下さい。

◆ 更に前編集委員長の玉生氏ほかは、第33回国際地質会議(IGC)の際の巡検の一つであったオスロの地熱エネルギー利用についての報告をして下さいました。日本とは異なる低温の地盤熱を利用する施設や現状等の紹介は非常に興味深いものです。エネ

ギー資源の有効利用を考える上で参考になります。

◆ 田口氏は、日中GIS応用シンポジウムについて、開催報告をして下さいました。地球地図と関連しますが、統合型GIS、ビジネスGISの話題やモニタリング管理など様々な応用例を具体的に伝えていきます。また、地質調査総合センターのGEO-DBやOne Geologyの紹介があったことも伝えていきます。

◆ ところで、地質標本館では小学校団体見学対応で水路実験を行っています。澤田氏ほかは、新たに作成した水路実験装置を紹介して、その実験の模様を報告して下さいました。理科学習での実験・観察を通して学ぶ「体験学習」の重要性を実感します。また、教材として様々な活用が期待されます。

◆ 社会の持続的な発展のためには、開発と保全とは表裏一体の関係にあります。CCOPに出ておられた村尾氏から、655号に引き続きスモールスケールマイニングを管理するモンゴル国の枠組み(2):政府決議72号の紹介をしていただきました。国を挙げて、乱掘による弊害を無くし、労働安全確保、環境修復等に配慮している様子が見えがわかります。

◆ 更に、重野氏ほか及び磯部氏による2件の新刊紹介が続きます。その分野における専門家による紹介文は、本の概要を知ると同時に読書欲も掻き立ててくれます。津波堆積物や地形学の本をじっくりと読んでみるのも良いものです。

◆ 5月は生命力あふれる緑の季節です。心機一転の4月から更に活動の高まる時期でもあります。本誌におきましても、更に活力とバラエティーに富んだ誌面とするために、今後とも皆様からの多くの多彩な記事のご投稿をお待ちしております。(金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長: 金井 豊

事務局委員: 宮内 渉

委員: 藤原 治・杉原光彦・高木哲一・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先: 地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第657号	2009年	5月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
	2009年5月1日 発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		



表紙右下のロゴについて: 地質調査総合センターは、国際惑星地球年(IYPE)に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2009 Geological Survey of Japan